



吉原 晴照 議員

質問

既存工業団地の現状と新たな産業用地の開発計画について

答弁

現在は空きや撤退がなく、新たな産業用地の開発は既存工業団地周辺で検討

吉原議員の質問動画



議員

既存の工業団地は4か所あるが、空きや撤退等はないか。

産業振興部長

現在、既存工業団地には、空きや撤退はなく、今後も各工業団地の連絡協議会と連絡を取り合って状況を確認していく。

議員

新たな産業用地は、既存の工業団地周辺で進める計画とのことだが、具体的にはアクセスやインフラ整備等を考えての計画か。

地域拠点整備課長

都市計画マスタープランにおいて、鬼怒川ふれあい道路沿線の既存工業団地周辺で産業の集積を図ることが示されている。また、アクセス性、周辺インフラの整備状況、現状の土地利用等を調査・検討した結果、既存の工業団地周辺地区が、最も効果的で適しているとの結論に至った。

議員

新たな産業用地整備の考え方は、今年度の予算の中で、予算書に産業団地事業化推進業務委託費として2千万円が記載されているが、業

務委託の調査結果から得た結果か。

地域拠点整備課長

市の財政負担の削減が期待でき、なおかつ、企業立地のニーズを逃がさない早期整備を図るために、民間活力を最大限活用したい考えであるが、地権者や事業者の意向を踏まえた手法であることが重要である。そのために、業務委託の内容は、対象区域の権利調査及び地権者の意向調査、図面等の資料作成や諸調査等となっている。

議員

企業誘致の候補は、今後期待できる半導体やロボット等の関連企業、また、通信として5Gの次世代に関連した企業への誘致を要望したいが、市長の所見を伺う。

市長

圏央道や常磐道から近いことから、多くの企業から立地したいとのニーズが寄せられている。これからの子どもたちが働きたいと思う新しい産業の企業誘致を目指し、トップセールスで頑張っていく考えである。



草間 典夫 議員

質問

防災対策：…今後の市の防災活動と人材の育成は

答弁

地域の防災力を生かした活動と地域の防災を担うリーダー育成に取り組む

草間議員の質問動画



議員

防災対策において、今後重点事項として対応すべき市の課題はどのようなことか伺う。

防災危機管理課長

マイタイムラインを生かした地域が主体となって作成するコミュニティタイムラインの構築、自主防災活動や福祉支援活動を行う方たちと連携した防災対策の強化、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難の受け入れや在宅避難者、車中避難者への支援が課題である。

議員

地域の実状に応じた環境整備として、新たな防災拠点の設置などについての考えはないのか伺う。

防災危機管理課長

車で避難できる場所として、海道路総合体育館など、指定避難所の駐車場を想定している。また、新型コロナウイルス感染症患者の避難の必要性も踏まえ、民間企業の駐車場等の確保も考えている。

議員

防災への意識啓発として、マンネリ化を解消し緊張感の持続でき

る防災訓練や防災教育等の取り組みで考えていることを伺う。

市長公室長

体で覚えることをテーマに、災害対策に必要な動きを取り入れた防災スポーツのような高齢者から子どもまで多くの方々に楽しみながら学ぶことができるものを発案していくとともに、地域の防災力を生かした活動も行っていく。

議員

災害時に率先して行動できる若手人材の育成として、中学生を対象とした防災リーダー育成についての考えを伺う。

教育部長

自分の生命を守り、周囲の生命にも注意を向けられる人材を育成することは、各家庭における防災意識や地域の防災力の向上につながる。防災リーダーとして未来の市を担う中学生の防災教育や研修に積極的に取り組んでいく。

議員

若手人材のすそ野を広げる上でも、中学生を対象とした計画性のある防災リーダー育成研修の実施を期待する。